

(2012年6月6日付しんぶん赤旗)

橋下維新 逆流の正体

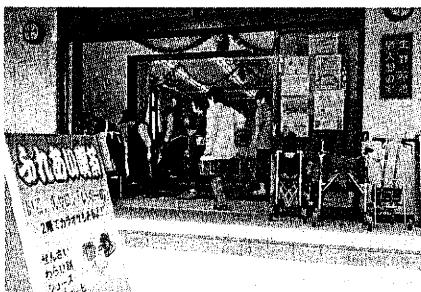
「あら。お元氣です
か」「元氣、元氣！」。

5月26日、大阪市生野区の「生野会館・老人憩の家」に、近所のお年寄りが、ゆっくりとした足取りで集まってきた。

「コーヒーでもせんきいでも何でも100円。お年寄りや幼い子を連れた母親など、2時間で約100人の人が立ち寄り、終始笑い声が絶えません。

地元の町会長の1人、
船越康宣さん(69)は、
う話します。

“絆” 壊し
「我慢ならん」



生野会館・老人憩の家での
「ふれあい喫茶」に集う地域
のお年寄り=大阪市生野区

第1部 市民攻撃に立ち向かう ①

「市地域振興会」の町会などを構成する地域の社会福祉協議会（社協）が、老人憩の家で開催していました。

うな行事は、迎えるのも
みんなボランティア。経
費もほとんど持ち出しで
すわ。でも、やるほうも
来るほうも楽しみにして
いるんです」

現在、橋下市長が策定を進めているのが「市政改革アラン」。市民サービスを3年間で4兆88億円もカットする全世代に

ます。
船越さんはいいえます。

『老人懇の家』といつても、小学校区に一ヶ所を基本として市内に3ヶ所を有するコミュニティセンターみたいなもの

案】には、5月11日から29日まで意見公募（パブリックコメント）が行われました。意見は2万件近くに及び、市で同制度が始まって以来の殺到となりました。

ほんま青天の霹靂です。地域で支えてきた福祉を一律に切るようなどんでもない話になつてい る。いくら『維新の会』といえども我慢ならん。

「『老人憩の家』といつても、小学校区に一ヶ所を基本として市内に3ヶ所あるコミュニティセンターみたいなものですよ。その日常的な維持管理・運営費まで削るなんて、橋下さんは『ミユニティ』はいらない

案】には、5月11日から29日まで意見公募（パブリックコメント）が行われました。意見は2万件近くに及び、市で同制度が始まつて以来の殺到ぶり。「大半が反対や現状維持を求める内容だ」（市政改革室）といいま

ほんま青天の霹靂です
わ。地域で支えてきた福祉を一律に切るようなどんでもない話になつてい
る。いくら『維新の会』といえども我慢ならん。
地域団体の人たちはみんな怒っているがな」
ある町会長はいます。

わたる攻撃です。素案
(5月11日公表)では、
老人憩の家の運営補助
(1カ所年間43万800
円)の半額補助への見
直しを提示。当初の試案
では廃止まで掲げていま

2万の声殺到

「維新の会」を応援して
きた別の区の社協幹部
はこう話します。

「地域振興会への財政措置も凍結したら減らそう」としたり。橋下さん

メモ 「大阪市地域振興会」は、戦後早くに結成された「大阪市赤十字奉仕団」が母体。市内約4000の振興会が、町会の連合体で、町会はおむね小学校区ごとに連合振興町会に束ねられています。同じくほぼ小学校区ごとに組織されている地域社協は、町会やPTA協議会、老人クラブなどさまざまな団体によって構成されており、連合振興町会の会長が地域社協の会長を兼ねるケースも少なくありません。

大阪府・市の「改革」
をすすめ、国政進出まで
狙うようになった橋下

一編新の会 その反對的な正体と逆流に立ち向かう人々を追います。